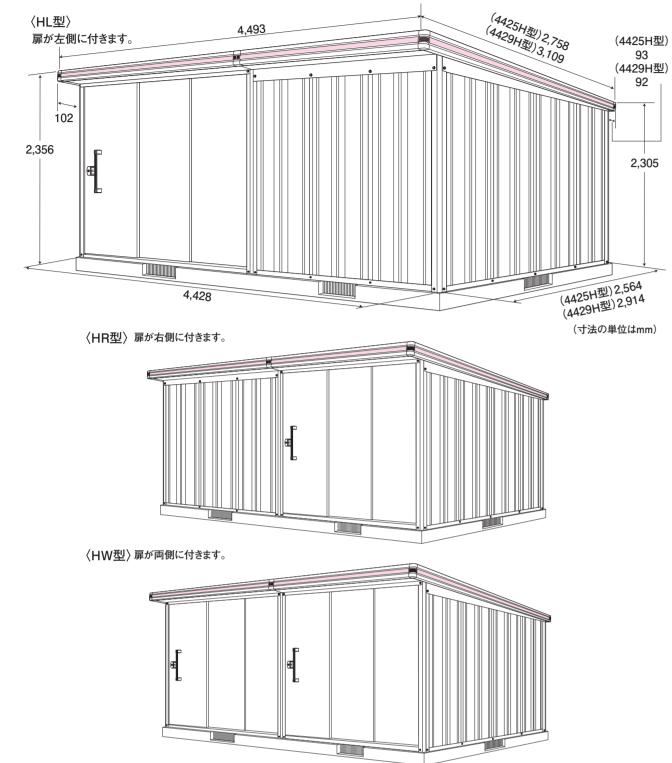
# 

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「4429HL型」の組立手順を基準に説明しています。 「HR型」「HW型」も基本的な構造及び組立手順は同じです。よくお読みの上、組立を行ってください。



#### ●設置場所の制限

#### 

- ●建物の屋上には設置しないでください。●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ◆大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。 ●崖のふち·風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

#### ●組立施工の際には

#### 

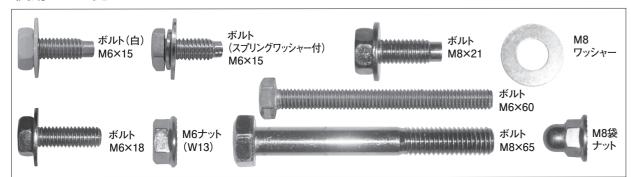
- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。 ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

# 鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

#### ●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。「HL型」は扉が左側、「HR型」は右側、 「HW型」は両側になります。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に 従って組立てしてください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
- ※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
- ●組立てに必要なもの ·軍手·水準器·脚立·M6,M8ボルト締結用のスパナ又はモンキー ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

#### ●使用ビス一覧

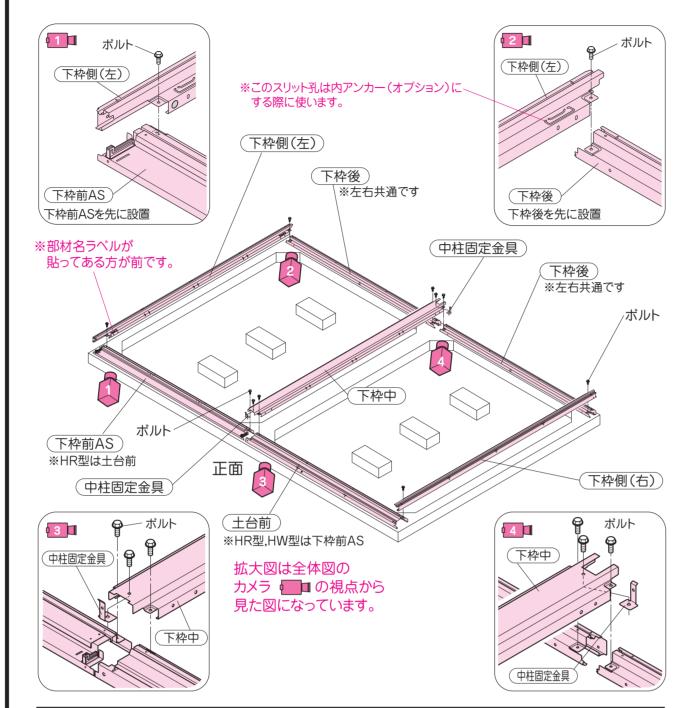


# 1基礎の施工

別紙「梱包組合せ表・梱包内容表」裏面「基礎の施工について」をご参照のうえ、基礎を施工してくだ

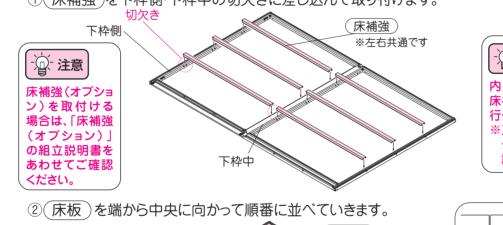
#### **2下枠の組立** ※この工程はHL型で説明しています。

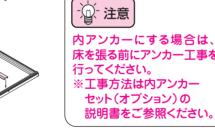
- ①(下枠前AS)·(土台前)·(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- HL型は下枠前ASを左側に、HR型は右側に、HW型は左右両方に並べます。 ② (下枠側) (下枠中)を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。 11 2 3 4 1
- ③下枠中に(中柱固定金具)をボルト止めします。 31441



# 3床の設置

① (床補強)を下枠側・下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。

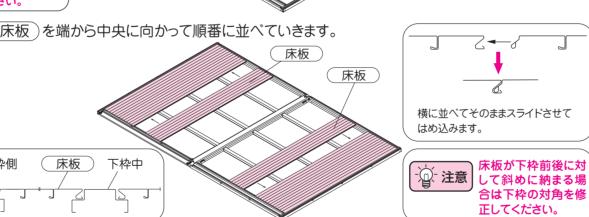




使用ボルト数 0本

使用ボルト数 14本

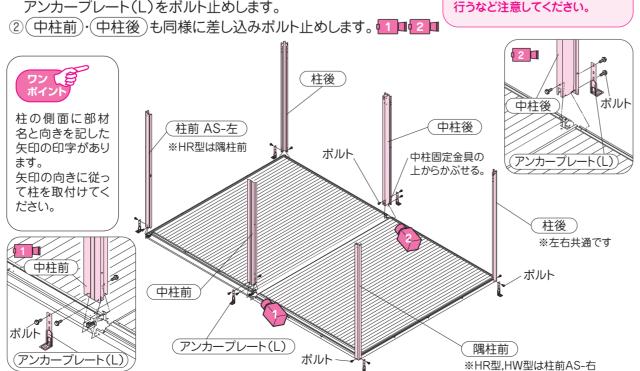
使用ボルト数 10本



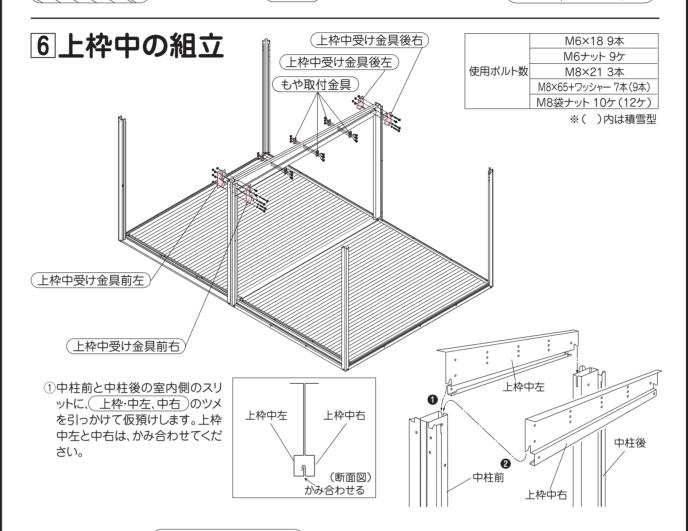
# 4柱の取付け ※この工程はHL型で説明しています。

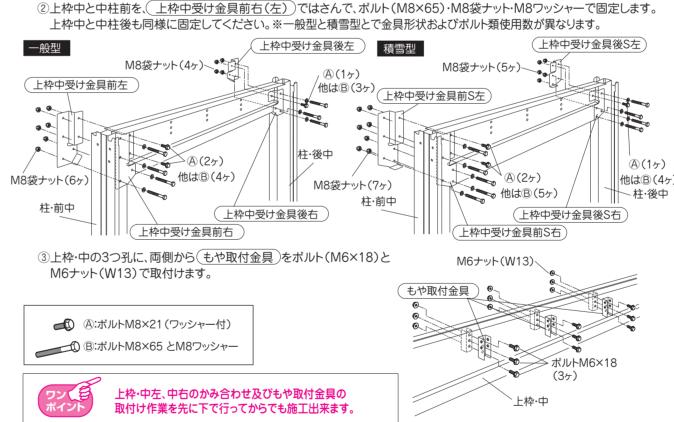
①(柱前AS)·(隅柱前)·(柱後)を下枠の4隅の切欠きに差し込んで ボルト止めします。※外アンカーにする場合は同時に

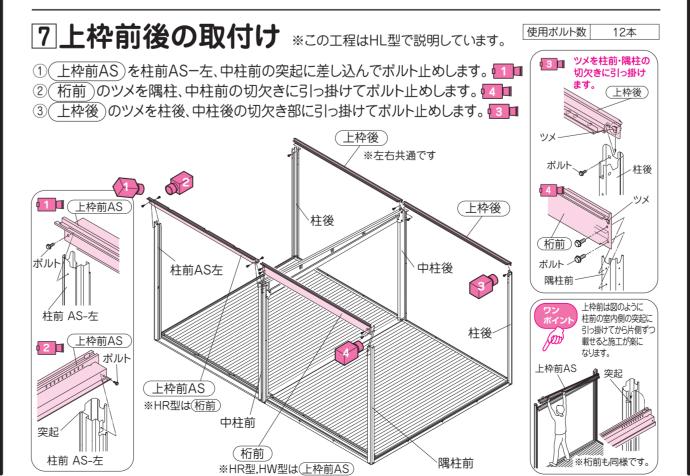
柱が倒れないように転倒防止を アンカープレート(L)をボルト止めします。

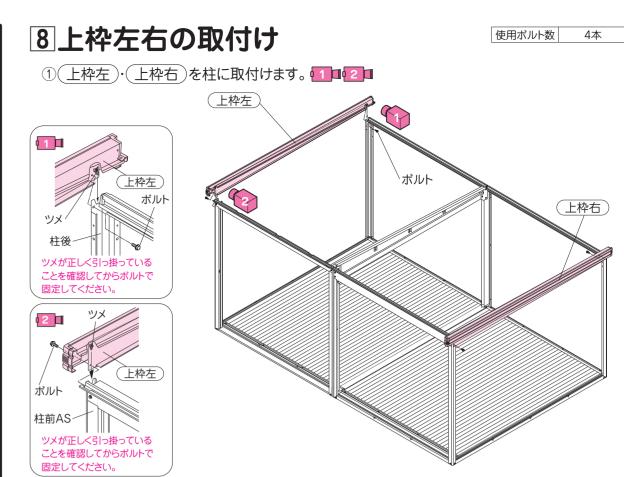


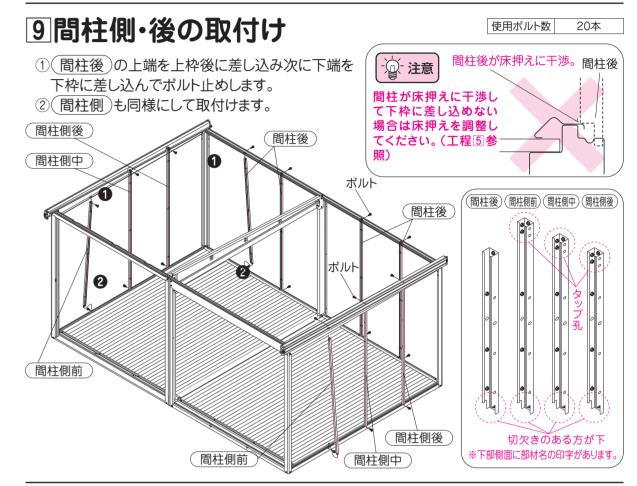
#### 5下枠中カバー・床押えの取付け 使用ボルト数 ①(下枠中カバー前)を中柱前の根本に設置します。 ②(下枠中カバー後(右))・(下枠中カバー後(左))を中柱後の 下枠前AS 根本に設置します。11121 ③ (床押さえ)を下枠前OD・土台前・下枠後に取り付けます。 下枠中カバー後(左) 床押え (床押え)※床押えは前·後共通です。 庫内側に 寄せて固定 下枠中カバー後(左) 下枠中カバー後(さ 下枠中カバー後(右) 注意 寄りに取り付けると間柱後・壁 間柱後が床押えに干渉。 間柱後

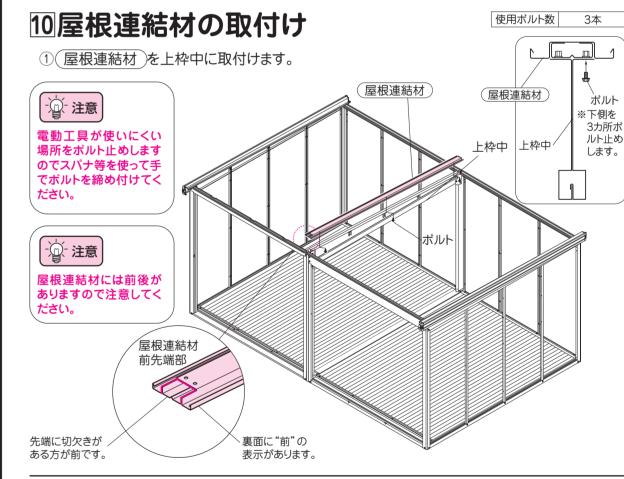


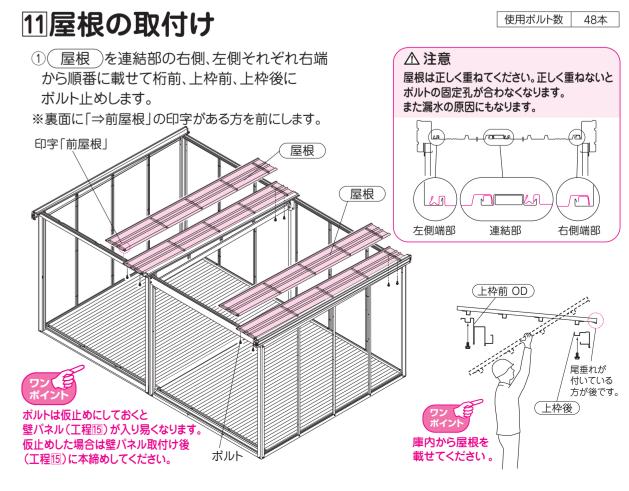


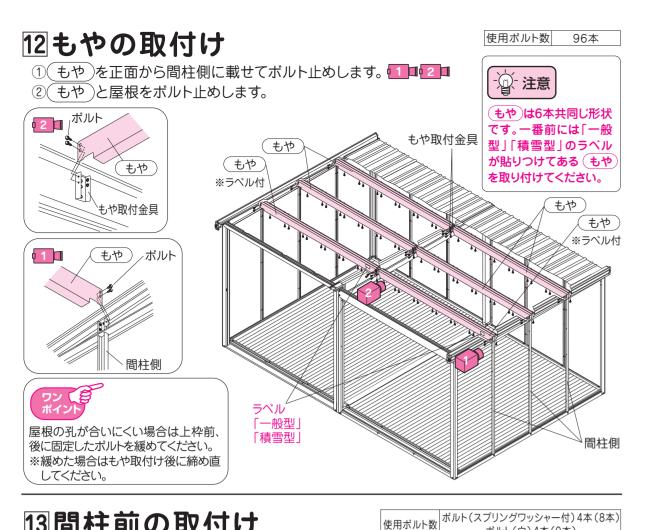








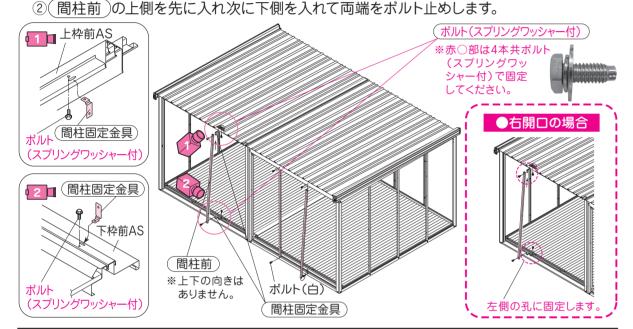




# 13間柱前の取付け

工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、 右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付 け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書44161920を

①(間柱固定金具)を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。 11221

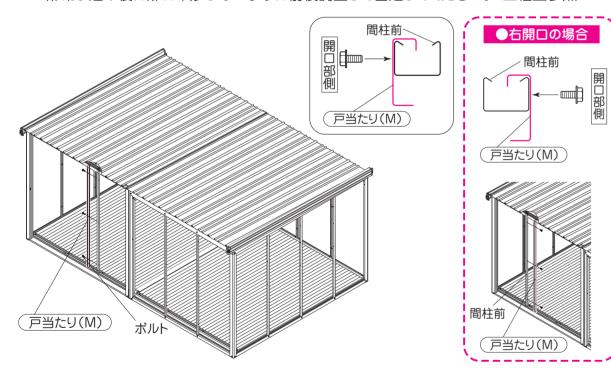


#### 14戸当たりの取付け

使用ボルト数 3本(6本) ※( )内はHW型

※()内はHW型

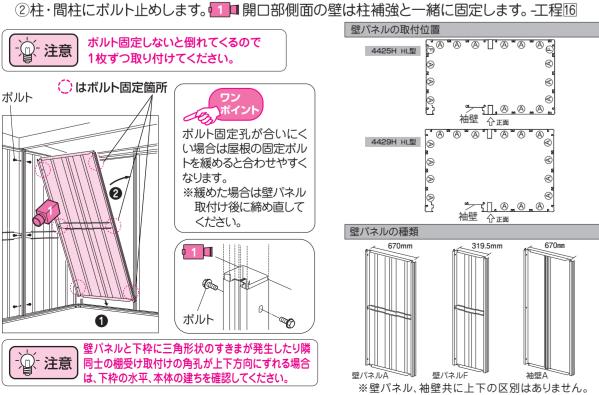
① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。 ※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程図参照

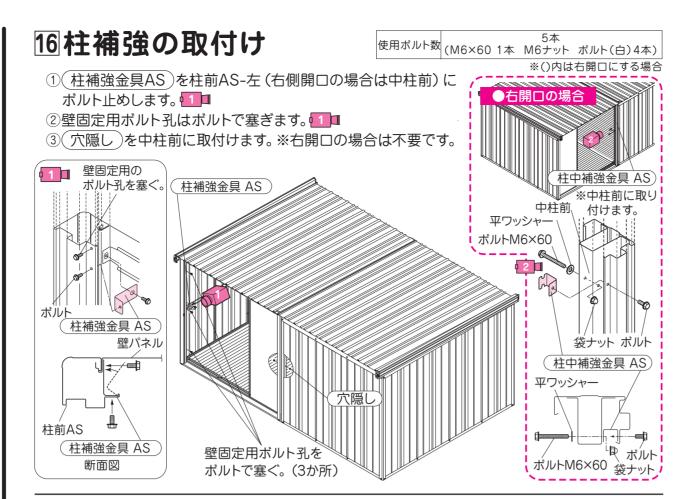


#### 15壁パネル・袖壁の取付け

使用ボルト数 107本(94本)

(1室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)



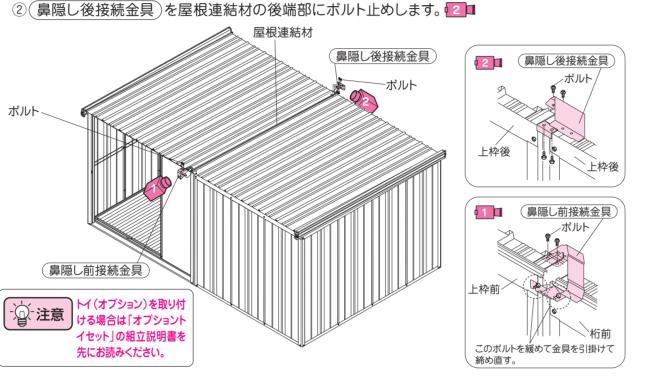


# 17鼻隠し接続金具の取付け

① (鼻隠し前接続金具)を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは ー日ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。 **□**■

使用ボルト数 6本

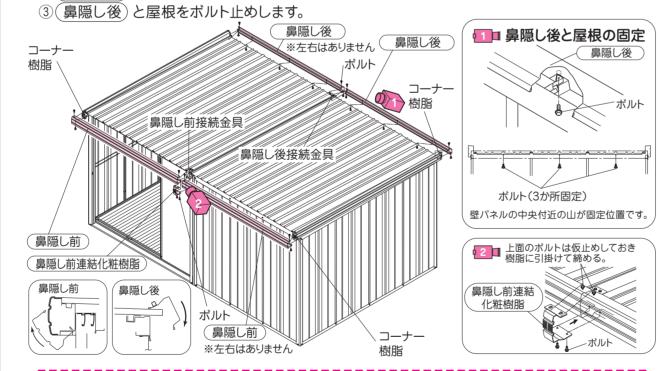
使用ポルト数 22本



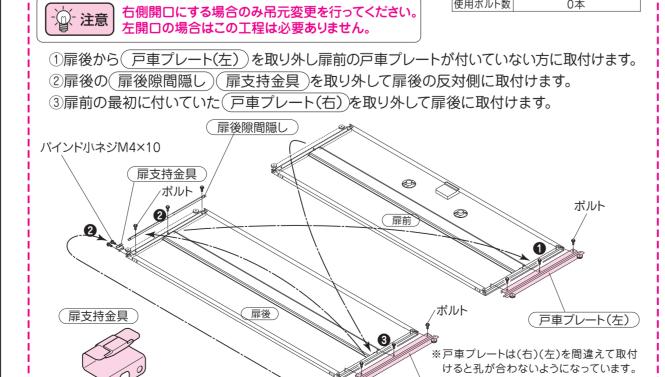
#### 18鼻隠しの取付け

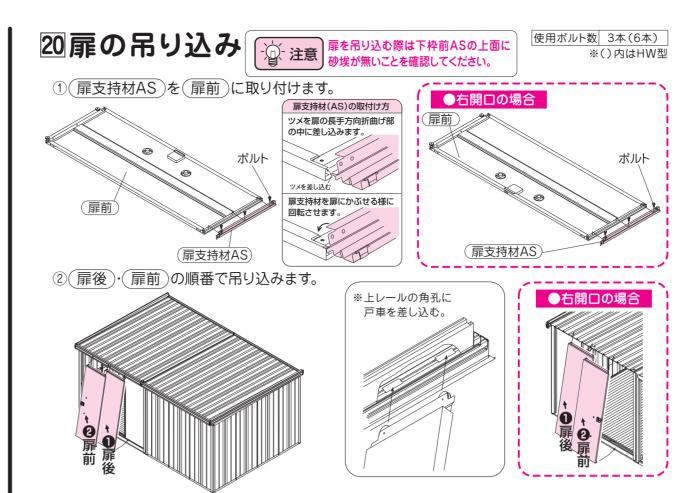
① (鼻隠し前)をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。 連結部分は(鼻隠し前連結化粧樹脂)を上からかぶせてボルト止めします。

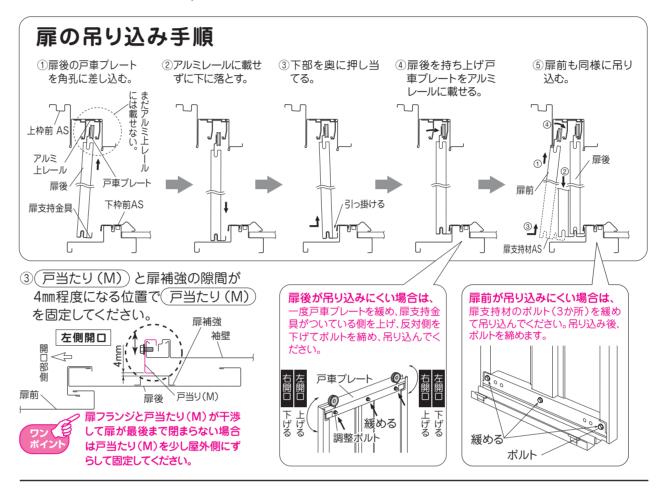
②(鼻隠し後)をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。



# 19扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)



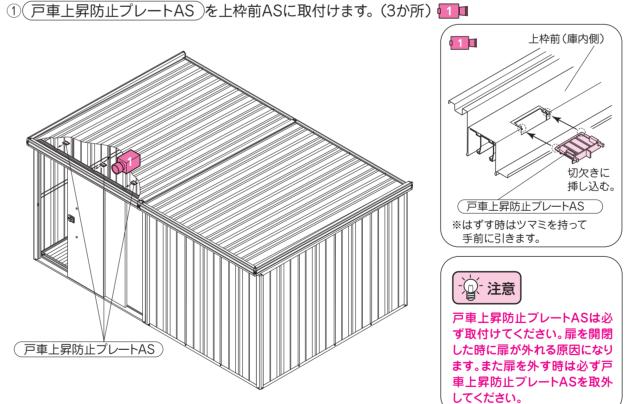




# 21戸車上昇防止プレートの取付け

使用ボルト数 0本

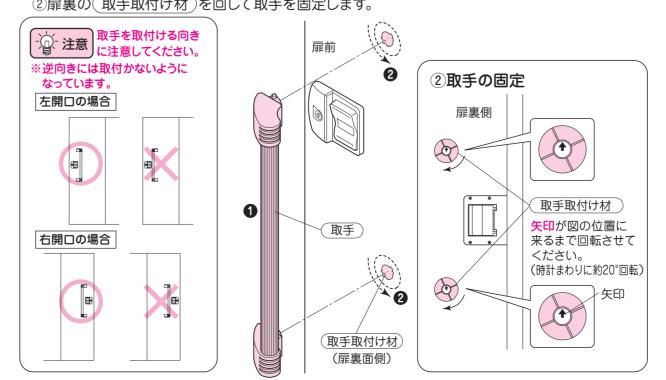
使用ボルト数 0本



#### 22取手の取付け

① 取手 を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



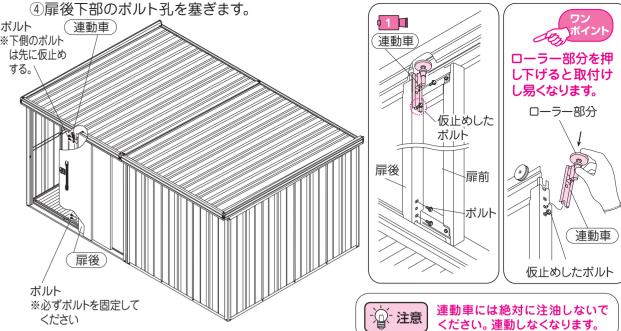
#### 23連動車の取付け

①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。

(ネジ部を5mm程度残してください)

②(連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。

③(連動車)をボルトで固定します。(仮止めしたボルトも締め込んでください。)

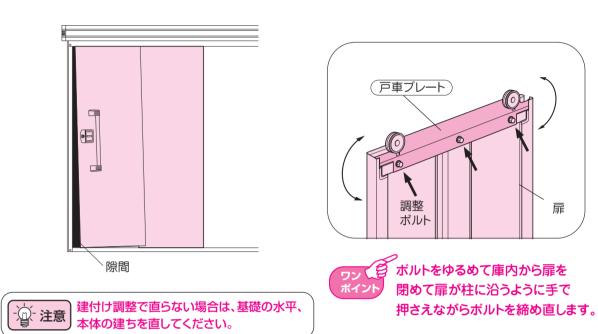


#### 24扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、

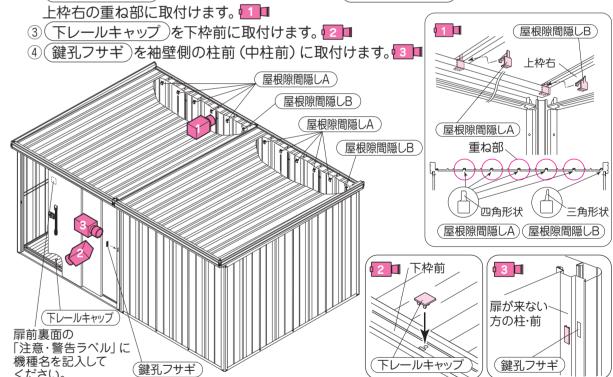
戸車を固定しているボルト (調整ボルト)をゆるめて調整します。



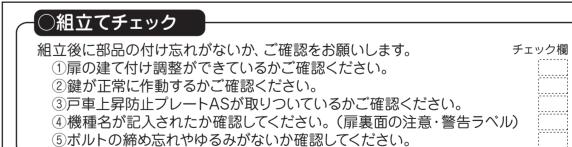
# 25 その他部品の取付け

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名、を記入します。

② (屋根隙間隠しA) を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB) を上枠後の屋根と







○こんな時は	
・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなお してください。(工程図図図)
・扉がスムーズに連動しない。	<ul><li>1.本体の建ちを確認してください。</li><li>2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。</li><li>3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。</li></ul>
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程図)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程図)

お客様へ組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 取扱説明書は大切な書類です。 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(4425H·4429H)

LMD-4425\_KS\_2025A

使用ボルト数 0本